



KANAGAWA

# ともいき 大学連携プロジェクト



(写真 令和6年12月14日共生社会実践セミナーにて)

**「ともに生きる社会かながわ」を実現するため、  
学生の皆さんと一緒に行動する取組を募集します！**

▶ **令和7年度 募集締め切り**

**令和7年5月30日（金曜日）**

▶ **応募方法**

下記ホームページ掲載の県問合せフォームからご連絡ください。  
検討している方も、まずはお気軽にお問合せください！！

**問合せ先**

神奈川県 福祉子どもみらい局 共生推進本部室

TEL:045-210-4961 FAX:045-210-8854

HP : [https://www.pref.kanagawa.jp/docs/m8u/tomoiki\\_gakusei.html](https://www.pref.kanagawa.jp/docs/m8u/tomoiki_gakusei.html)



神奈川県PRキャラクター  
かながわキンタロウ



(二次元コード)

## 春～夏 県の取組について出張説明＆相談



各校の皆さんのもとに県職員がお伺いします。  
県の取組について経過や内容を皆さんに分かりやすく、  
ご説明します。  
皆さんのご希望に応じて、内容や時間も調整します。

## 各校が自主的な取組実施/県がサポート・助言

【令和6年度に連携した学校の紹介（一例）】

### 鎌倉女子大学 佐藤ゼミ

共生社会をテーマの演劇を通じた子どもとの交流



共生社会をテーマにした人形劇を制作した。制作した人形劇は県立茅ヶ崎支援学校児童や大学の学園祭に登場した子どもや民間学童の子ども向けに上演した。

### 神奈川工科大学 人間機械共生研究室

障がいや高齢の福祉を目的とした活動の支援



ロボットやAIを活用して、共生社会の実現に向けて研究をする学生たちが、県の取組や障がい当事者からの話を参考に、当事者目線の視点で機器等の開発を行った。

### 相模女子大学 さがっば当事者研究会

障がい当事者青年たちとの発信活動



大学生と知的障がいや発達障がいがある若者による、当事者研究会。将来教員を目指す大学生に向け「当事者目線で知ってほしいこと」を考え発信した。

### 田園調布学園大学 和ゼミ/弓馬ゼミ/Bonds

「津久井在来大豆」を通じた津久井やまゆり園との交流（和ゼミ）



園の利用者の方たちと一緒に、地元在来大豆栽培やブルーベリー農園での収穫や加工を行い、園利用者・学生・地域の方たちとの交流の創出を図った。

### 神奈川県立保健福祉大学 在原ゼミ

「車椅子ユーザー1日密着」から考える心のバリアフリー



グループホームで生活している車椅子ユーザーとの関わりを通して、誰もが暮らしやすい社会に必要なことについて、当事者目線に立つて考えた。

### 川崎市立看護大学 川崎リンクス

重度障がい者の在宅生活を支える活動



筋萎縮性側索硬化症(ALS)などの重度障がい者の外出支援ボランティアや、ヘルパーの資格を取得して在宅生活を支える活動を行った。

## 12月頃 共生社会実践セミナー ※予定

(県庁にて約100人の参加者の前で実践発表/参加学生との交流)

- 活動内容については各校・学生の皆さんの考えや思いに応じて、相談しながら進めていきます。各取組について、連携先、広報、発表や成果を発揮する場の提供などについても相談に応じます。
- 応募にあたっては学校単位、ゼミ単位、サークル単位、有志でも可能です。
- 活動費の一部を県が負担します（詳細は応相談）
- 県の取組の出張説明＆相談は無償です。県の出張説明＆相談のみのご希望にも対応します。

ともに生きる

平成28年7月26日に県立の障害者支援施設「津久井やまゆり園」で、大変痛ましい事件が発生しました。このような事件が二度と繰り返されないよう、県と県議会は、ともに生きる社会の実現を目指し、「ともに生きる社会かながわ憲章」を策定しました。

県は令和5年4月に「神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例～ともに生きる社会を目指して～」が施行され、共生社会の実現に向けて取り組んでいます。